

郷土の偉人と地名の縁による自治体間交流事業（愛媛県八幡浜市）

取組概要

・地名と偉人で縁の深い京都府八幡市との交流の懸け橋として、中学生による交流事業を実施し、継続した交流に向けた相互理解及び信頼関係を構築し、民間企業や住民同士の交流にもつなげ地域活性化を図る。

取組の効果

- ・地元の中学生にとっても地域の魅力を再発見する機会となった。
- ・八幡浜市の特産品である温州ミカンを冷凍した、「冷凍ミカン」が八幡市の学校給食に採用された。
- ・二宮忠八翁生誕150年を記念する企画展の開催にあたり、八幡市の飛行神社より貴重な所蔵品を貸出いただいた。

創意・工夫した点

・地域資源を活用しながら、中学生が楽しめる内容になるように、市民団体や離島航路事業者の協力により、職員が独自に体験プログラムを考案した。

他団体へのアドバイス

・交流事業を通じて、お互いの地域資源を比較し見つめ直す機会となり、中学生という柔軟な発想の持ち主が交流することで、さらに新しい発見の可能性を秘めている。

人口 35,461人

担当 政策推進課



みなと交流館での歓迎式典（記念撮影）



ご当地キャラ「はまぼん」と記念撮影